

問 1 (50 点)

【採点のポイント】

- ・ 各国の特徴を資料からの確に読み取り，要点を押さえて記述されていること。
- ・ 正しい日本語を用いて適切に要約できていること。

【解答例】

- ・ 日本は，長距離輸送を伴う大量の食料輸入がみられるため，諸外国と比較してフード・マイレージの値がとりわけ大きい。
- ・ 韓国は，人口 1 人あたりの食料輸入量は 6 カ国中イギリス，ドイツに次ぐ中位を占めるが，食料の平均輸送距離が長いから，人口 1 人あたりのフード・マイレージの値が日本と同様に大きい。
- ・ アメリカ・イギリス・フランス・ドイツなど欧米諸国は，日本・韓国と比べて平均輸送距離が短いことから，近隣諸国からの食料輸入の多いことが推察される。
- ・ アメリカは他国と比較して，1 人あたりの食料輸入量が少ないことから，食料自給率の高いことが推察される。
- ・ フランスはフード・マイレージの値が他国と比べて低いことから，食料自給率が高く，かつ食料輸入にあたっては，近隣諸国から輸入していることが推察される。

問 2 (50 点)

【採点のポイント】

- ・ 資料を参考にしながら，フード・マイレージの値を小さくするための取り組みを具体的に述べていること。
- ・ 正しい日本語を用いて適切に記述できていること。

【解答例】

フード・マイレージの値を削減するためには，食料の輸送量と輸送距離を減らす必要がある。したがって，地元でとれたものを地元で消費する地産地消や，できるだけ国内で調達できる食材を使ったメニューを選ぶことが大切である。